

令和2年度活動計画

基本方針

令和2年度のNPO活動は、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中で取り組むこととなり、これまでのように会員の皆様との対面による意見交換や十分なコミュニケーションを取っての様々な自主事業活動への取り組み等が大変難しい状況にあり、皆様にはご不便等をお掛けしているところですが、今後はWEB会議やホームページを利用した情報配信など新たな試みにも挑戦して参る所存です。

1. 令和2年度活動計画

1-1 特定非営利活動に係る事業

(1) 海域、陸域の環境及び国土保全に関わる調査・研究

・有明・八代海沿岸域環境研究会の開催

昨年5月に刊行した「八代海再生へのシナリオ」を教材として、最新の知見や科学技術情報等、今日の環境問題の情勢、日本の環境政策等、シナリオを進めていく上で留意すべき点を解説するとともに、再生までの具体的な進め方について合意形成、シナリオの実行等をシリーズとして紹介・話題を提供して参ります。また、各機関で取り組んでいる有明海・八代海沿岸域再生に向けた取り組み事例の紹介や「環境と防災の調和した地域社会づくり」に向けた意見交換を深める場を企画・開催して参ります。

(2) 環境の再生・維持及び防災に関わる地域社会支援活動

・熊本県沿岸域再生官民連携フォーラムへの取り組み

今期も事務局活動に主体的に取り組むとともに、現在、鋭意活動中の二つのプロジェクト「活動PR戦略プロジェクトチーム」及び「八代海湾奥環境改善・保全シナリオづくり及び再生策検討プロジェクトチーム」の活動を支援して参ります。また、目的を達成するための新たなPTの設置等あれば積極的に支援して参ります。

二つのPTチームの活動テーマにご賛同の正会員及び支援会員の皆様の積極的なご参加及びご支援をお願い致します。

(3) 海の交流事業と広報活動に関わる企画・運営

・シンポジウム：「令和2年度 熊本県沿岸域再生の現状と展望」の開催支援（共催）

昨年8月19日（月）に、研究集大成「八代海再生へのシナリオ」刊行の報告と討論会と題したシンポジウムを開催し、ご参加の皆様にご好評を得ることができました。令和2年度でも新型コロナウイルス感染症防止対策の行方等不透明な部分も多々ございますが、地域間、分野間での活動をつなげる交流の場として、シンポジウム共催に向け熊本在住の理事を中心に事務局メンバーとしてシンポジウム開催を支援して参ります。

1-2. その他の事業

(1) 「八代海再生へのシナリオ」書籍の配布

当NPOにおいて、これまでの研究成果や最新の科学技術的な知見を網羅し“八代海の真の再生”に資することを目標に編纂・製本した「八代海再生へのシナリオ」を、

当NPOを介しご提供（印刷・製本・郵送費のみを徴取）して参ります。八代海・有明海をはじめ日本全国の沿岸域の再生に取り組んでおられる研究者、技術者、関係行政機関の方々に「環境と防災の調和を目指した海域再生の範例」として有効に活用していただけるものと確信しております。

※「八代海再生へのシナリオ」 全 373 ページ／巻末資料集：CD-R 1 枚

印刷・郵送費：3,500 円/冊（税込み）：提供方法・当NPOのホームページより

（2）情報共有と発信（広報活動）

情報発信の基盤として、みらい有明・不知火のホームページの更新頻度を上げ会員の皆様への情報発信及び各イベント参加の呼び掛けなど情報の鮮度や掲載内容の充実・向上に取り組んで参ります。

URL <http://www.mirai-ay.or.jp>